

気になる北極点到達の旅 Q&A

どなたでも地球のてっぺんに立つことができます

Q1 北極点到達の旅にご参加された方の年代は？

かつては探検家だけが訪ねた北極点ですが、現在は砕氷機能を持つ極地探索船が誕生し、誰でも北極点を訪ねることが出来るようになりました。このたび利用する「コマンダン・シャルコー」によって、快適な設備と質の高い食事を楽しみながら、さらに快適で地球環境にも配慮した北極点の旅が実現しています。過去16回実施した北極点の旅の参加者の多くは70代、80代の方で、90代の方もいらっしゃいました。どなたでも地球のてっぺんに立つことができます。

Q2 北極点の気温は何度くらい？特別な準備は必要ですか？

一年の中で一番訪れやすい夏に北極点を目指します。日本の真冬の時期やアラスカの冬のオーロラ観測時よりも温度は高い、-4℃~0℃くらいです。乗船中に着用する専用パルカ（防水防寒上着）やブーツは現地にてご用意しております。ご準備いただくのは、セーターやウィンドブレーカー程度で十分です。

Q3 船内はお洒落着が必要ですか？

このたび利用するポナン社の「コマンダン・シャルコー」は設備や食事面では最高クラスのレベルを誇る極地探索船ですが、日中は軽装、またデ

ナー時の服装はスマートカジュアルで全く問題ありません。男性であれば襟付きのシャツ、女性は昼間と少し雰囲気が変わるものが1~2回程度あっても良いという程度で十分です。



Q4 終日クルーズは何をしますか？

乗船後はしばらくスヴァールバル諸島沖を航行し、北極海を抜けて北極点へ目指します。北極海に入るとしばらくすると冰山（海氷）が見えはじめ、次第に一面氷に閉ざされた世界になります。そのダイナミックに移り変わる景色は、まさにこの星の原風景を味わう壮大なもので、一日中見ても飽きません。また、船内では極北に関する様々なセミナーも随時開催され、毎日のようにショーや船内イベントが開催されます。ジムやスパ（有料）もあり、屋外温水プールも備えていますので、極地の風景を見ながら泳ぐこともできます。白夜に近く、日が長い為、運が良ければ極北の動物が見えてくることも。船内で退屈することは、まずないでしょう。

●この画面は、旅行業法第12条の4による取引条件説明書及び旅行契約が締結された場合は同法第12条の5により交付する契約書の一部となります。お申込に際しては別途交付する旅行条件書(全文)をご確認の上、お申込みください。

ご旅行のご案内とご注意・条件(抜粋)

●旅行契約の成立
旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。

●旅行代金の支払い
旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日より前にお支払いいただきます。

●お支払い対象旅行代金
「お支払い対象旅行代金」とは、「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行代金に含まれるもの
(1) パンフレット等、当社ホームページの旅行日程に明示した次に掲げるものが含まれます。

- ① 運送機関の運賃・料金（パンフレット等に特に別途の記載がない限り、航空機の場合はエコノミークラス、鉄道は普通車を利用します。）
- ② 送迎バス料金、都市間の移動に係るバス料金、観光に伴うバス料金
- ③ 宿泊機関の宿泊料金及び税・サービス料金（パンフレット等に特に別途の記載がない限り1部屋に2名で宿泊した場合を基準にします。）
- ④ 食事の料金（機内食は除く。）及び税・サービス料金
- ⑤ 添乗員等（企画旅行に同行して旅程管理業務を行う者等）が同行するコースにおける添乗員等の旅行費用
- ⑥ 観光に伴うガイド料金、観光施設の入場料等
- ⑦ 航空会社等が定める個数・重量の無料手荷物許容量の範囲内の受託手荷物運送料
- ⑧ 団体行動時の必要な心付け
- ⑨ 旅行日程中の海外の空港税、通関税、同空港利用料
- ⑩ その他パンフレット等において、旅行代金に含まれる旨を表示したもののほか

(2) 前(1)に記載したものは、お客様の都合により一部利用されなくても払戻しの対象外となります。

●旅行代金に含まれないもの
上記以外は旅行代金に含まれません。その一部を例示します。

- (1) 超過手荷物料金（特定の重量・容量・個数を超える分について）
- (2) 個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金
- (3) 渡航手続関係諸費用（航空印紙代・査証料・予防接種料金・渡航手続代行料金）
- (4) お1人部屋を使用される場合の「1室1名利用追加代金」
- (5) 日本国内の空港施設使用料、国際観光旅客税
- (6) 港湾利用料、政府関連諸税等
- (7) 燃油サーチャージ（旅行契約成立後に増額された場合は、増額分の差額は徴収し、また、減額・廃止された場合は、減額分は、払戻しをいたします。）

●お部屋について
(1) 部屋割りは、原則としてホテル又は船会社が予め定めております。また、ホテルや船室では部屋により調度品や広さが異なる場合があります。当社ではバスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各

地域の特性や施設の事情によりシャワーのみとなる場合があります。(2) 可能な限り2人用の客室にはシングルベッドが2台の「ツインベッドルーム」をご用意いたしますが、ホテルによっては、「ダブルベッドルーム」に2台目のベッドとして簡易ベッドを入れてご利用いただく場合もございます。また、ご夫婦でご参加の際は、「1ベッドタイプ」で大型ベッド1台のみのご利用となる場合があります。(なお、「ツインベッドルーム」には2つのベッドマットが1つの枠の中に入っている「ジャーマンツイン」の客室、2つのベッドのサイズや種類が若干異なる客室も含まれます。)

※ホテルの★の数の記載に関して
弊社では、これまで各国の正式な評価基準に基づき、利用ホテルの★の数を記載してまいりました。しかしながら、昨今は欧米の大手ホテルチェーンであっても未登録のホテルが増えてきていること、★の数が必ずしもホテルの品質を担保するものではない現状を鑑み、ホテルの★の掲載を取り止めております。なお、これまで通りツアー内容やコンセプトに合わせて可能な限り快適なホテル選定を心がけております。

●クルーズ旅行における寄港地上陸観光
船のスケジュール及び上陸観光地は乗客の安全を最優先と考え、天候やその他現地事情により、船長の判断によって予告なしに変更されることがあり、その権限は船長が持っています。また、その変更による払戻しはございません。

●航空機について
座席配列により、グループ・カップルの方でも隣り合わせにならない場合があります。なお、窓側・通路側のご希望は、すべてのご希望をかなえることは不可能ですので、ご容赦ください。

●時間帯の目安について
当社は、原則として時刻表に記載した日程表を交付しておりますが、地域により時刻表に記載できない一部の日程表については、下記の時間帯で表記します。

04:00	08:00	12:00	16:00	18:00	22:00
朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜

●日程表中のマークについて
■観光について：●=入場観光 ○=下車観光 ㊦=ユネスコ世界遺産

■お食事：朝=朝食 昼=昼食 夕=夕食 機=機内食 □=食事なし 軽=軽食（通常よりもお体にやさしい軽めの食事です）

■乗り物：✈=航空機 🚌=バス 🚗=列車 🚲=自動車 🚲=ロープウェイ

●本パンフレットの掲載写真と地図について
パンフレットには、よりお客様に訪問地のイメージを掴んでいただくよう、ツアーに即した写真を掲載するように努めておりますが、必ずしも同じ角度や高度でご覧いただけるという保証ではございません。また、掲載しております地図は、おおよその位置関係と宿泊地、訪問地を示し、イメージを掴んでいただくためのものです。

●旅行契約の解除・払戻しについて
旅行契約が成立した後(以下)の区分により定められた取消料をお支払いいただくことにより、お客様は旅行契約を解除することができます。

旅行契約の区分	適用する取消料
日本出国時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約並びに海外を出发地及び到着地とする募集型企画旅行契約(貸切り航空機を利用するコースを除きます。)	<表1>
日本出国時又は帰国時に貸切り航空機を利用する募集型企画旅行契約	当該パンフレット等に別途明示する取消料によります。
旅程中に3泊以上のクルーズ日程を含む旅行でパンフレット等に別途明示があるもの	当該パンフレット等に別途明示する取消料によります。
日本発着時共に船舶を利用する募集型企画旅行契約	当該船舶に係る取消料の規定によります。

<表1> 日本発着時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約並びに海外を出发地及び到着地とする募集型企画旅行契約

旅行契約の解除期日	取消料
旅行開始日がピーク時の旅行である場合であって、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって40日目に当たる日以降31日目に当たる日までに解除するとき	¥30,000 お支払い対象旅行代金が30万円未満のときは10%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目に当たる日以降21日目に当たる日までに解除するとき	¥50,000 お支払い対象旅行代金が25万円未満のときは20%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって20日目に当たる日以降3日目に当たる日までに解除するとき	お支払い対象旅行代金の20%
旅行開始日の前々日に当たる日から当日(旅行開始前)までに解除するとき	お支払い対象旅行代金の50%
旅行開始後に解除するとき又は無連絡不参加のとき	お支払い対象旅行代金の100%

(注1) 旅行契約解除の申出は、当社の営業日の営業時間内をお願いします。当社の営業日の営業時間、連絡先(電話番号等)及び連絡方法は、お客様自身でもお申込時に必ずご確認ください。

(注2) 「ピーク時」とは、12月20日から1月7日まで、4月27日から5月6日まで及び7月20日から8月31日までをいいます。

(注3) <表1>の「お支払い対象旅行代金」とは募集型企画旅行契約に「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行条件・旅行代金の基準
ご旅行条件につきましては、このパンフレットに記載しました契約内容・条件の他、旅行条件書(全文)、確定書面(最終旅行日程表)及び当社の旅行業約款によります。ご旅行条件は、2025年4月1日現在の運賃・料金を基準としております。



あなたの旅を想うことから旅を創いで55年。

船代の1名様利用追加代金無料キャンペーン
船会社によりキャンペーンとなり、該当キャビンが埋まり次第予告なく終了します。お早めにご確認ください。

ポナン社初の砕氷船ル・コマンダン・シャルコーでゆく
LE COMMANDANT CHARCOT

北極点到達の船旅

【2025年 7月21日(月)~8月8日(金) 19日間】

地球のてっぺん北極点到達の旅が2年ぶりに再開

北極点とスピッツベルゲン。

一度の旅で夏の北限を代表する2つの極地へ



WEBもどうぞ **ワールド航空** 検索 <https://www.wastours.jp>

□ 東京支店 TEL: 03-3501-4111 東京都千代田区有楽町1-5-1 日比谷マリンビル 4階 〒100-0006 総合旅行業務取扱管理者 松崎 浩

□ 大阪支店 TEL: 06-6343-0111 大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル29階 〒530-0001 総合旅行業務取扱管理者 柴尾 祐樹

□ 名古屋支店 TEL: 052-252-2110 名古屋市中区栄3-14-7 RICC0栄8階 〒460-0008 総合旅行業務取扱管理者 柴崎 範明

※総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者におたずねください。(株)ワールド航空サービス観光庁長官登録旅行業201号

営業時間/月曜日~金曜日 午前9:30~午後5:30(土・日・祝は休業)

□ 九州支店 TEL: 092-473-0111 福岡市博多区博多駅前2-5-28 博多信成ビル2階 〒812-0013 総合旅行業務取扱管理者 木村 咲子

□ 札幌支店 TEL: 011-232-9111 札幌市中央区北1条西2-1 時計台ビル 5階 〒060-0001 総合旅行業務取扱管理者 真島 智

□ 湘南支店 TEL: 0466-27-0111 神奈川県藤沢市藤沢484-1 藤沢アンバービル 3階 〒251-0052 総合旅行業務取扱管理者 近 博之

□ 仙台支店 TEL: 022-232-9111 仙台市青葉区中央1-1-1 仙台駅前ビル 5階 〒980-0001 総合旅行業務取扱管理者 近 博之



©PONANT-Photo-Ambassador-Ian Dawson

第17次

ポナン社初の砕氷船ル・コマンドアン・シャルコーでゆく

LE COMMANDANT CHARCOT

北極点到達の船旅【19日間】

北極点とスピッツベルゲン。

一度の旅で夏の北限を代表する2つの極地へ

ポナン社の日本人エクスペディションリーダー 伊知地 亮さんからメッセージが届いています



私が初めて北極点に行ったのは10年近く前、ワールド航空サービスの皆様と共にロシアの原子力砕氷船に乗船してのことでした。当時、北極点に行く唯一の手段でしたこの船はいわゆるワーキングシップと呼ばれる、観光向けではなく文字通り航路を切り開く砕氷船で、ラグジュアリーとは遠い存在の様な船でした。しかし北極点に初めて到達した感動は今も深く覚えています。

2021年に就航したル・コマンドアン・シャルコーは、世界で初めて建造されたラグジュアリー砕氷客船となり、砕氷能力は海上自衛隊のしらせと並びます。これまでに実施した全ての試みで北極点に到達しており、私もこれまでに4度、同船で到達しています。北極点到達の感動は今も変わらず、しかしクルーズ中の船内生活は快適そのもの、弊社が保有する船舶で最もラグジュアリーでスペースのある船内となっており、お料理もアランデュカス自身が考案したメニューで提供しております。快適な船内でありながら冒険心は変わらず、毎日レクチャーや様々な上陸アクティビティをご用意しています。

地球の頂に立つ、かつてはそのための手段は選べない時代でしたが、シャルコーの就航によって、それをこれまでにない優雅で快適な形で実現することが出来るようになりました。またワールド航空サービスのお客様と共に、北極点へ行けることを楽しみに、乗船地にてお待ち申し上げます。

エクスペディションリーダー 伊知地 亮

北極点到達の旅への思い

今から25年前の2000年、猛暑の8月。東京台場の国際展示場ビックサイトで行われた世界旅行博。広い会場の片隅、人気のないロシア出展の小さなブースで、真紅の船体が氷の中を力強く砕き進む一枚の写真と出会いました。思えば、これが「夢の企画」の始まりとなる第一歩でした。お客様に2001年は「21世紀を迎えるメモリアルな旅を」と思案していたところ、これぞ相応しいビッグツアーだと、世界初のフルチャーターでの北極点到達の旅を実現。のちにこのツアーは審査員の満場一致で2001年度の「ツアー・オブ・ザ・イヤー・グランプリ」を受賞する栄誉に浴しました。

北極点到達の旅は、その後、毎夏の私どもの人気ツアーとして、第16次となる2023年まで、すべて無事に北極点到達を成し遂げています。人間の大きな夢のひとつ、「地球のてっぺんにご自身の足で立つ」。ぜひこの夢を、このたびの「ザ・ノースポール」(北極点到達の旅)で果たしていただければ幸いです。

船代の1名様利用追加料金無料キャンペーン

船会社によりキャンペーンとなり、該当キャビンが埋まり次第予告なく終了します。お早めにご検討ください。

出発日とご旅行代金 (¥)内は1名利用追加料金	
羽田発 2025年 7月21日(月)～8月8日(金) 19日間	
キャビンカテゴリー	ご旅行代金
プレステージ・ステート6階 (20㎡+バルコニー 5㎡・シャワー)	エコノミークラス利用 ¥7,280,000 (1名利用追加代金 船¥0※ ホテル¥85,000)
	ビジネスクラス利用 ¥7,860,000 (1名利用追加代金 船¥0※ ホテル¥85,000)
プレステージ・ステート7階 (20㎡+バルコニー 5㎡・シャワー)	エコノミークラス利用 ¥7,390,000 (1名利用追加代金 船¥0※ ホテル¥85,000)
	ビジネスクラス利用 ¥7,970,000 (1名利用追加代金 船¥0※ ホテル¥85,000)
バスタブ・リビングスペース・パトラー付のプリビレッジ・スイート(48㎡+バルコニー12.5㎡)も別途ございます。ご希望の方は担当までお問い合わせください。	
※現在、船会社(ポナン)が通常数百万円を要する船のシングル利用追加代金無料キャンペーンを実施しております。船会社によるキャンペーンのため、該当キャビンが埋まり次第予告なく終了します。お早めにご検討ください。	
・燃油サーチャージ別途(目安:¥66,000 : 4月1日現在)	
ビジネスクラス利用区間:日本発着の国際線区間(羽田空港～パリ間の往復)適用となります。※パリ～ロングイヤールビエン間のビジネスクラスご希望の方はお問い合わせください。	
地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道…¥5,000 福岡・札幌～東京 片道…¥10,000

旅行条件とご注意

- 利用航空会社: エールフランス航空または日本航空または全日空
- 最少催行人員: 6名様
- 食事: 朝食17回、昼食14回、夕食17回
- 添乗員: 羽田空港ご出発時から羽田空港ご到着時まで同行いたします。
- パスポート必要残存有効期間: 下船時6か月以上
- パスポート査証未使用欄: 2ページ以上必要
- 旅行代金には船内チップ(1泊あたり13ユーロ)は含まれておりません(チップは船内での精算となります)。
- 当ツアーは健康診断書の提出が必要となります。詳しくは出発前に書面にてご案内します。
- 当ツアーでは海外旅行傷害保険の「救援者費用等保険金額」のご加入が必要となります。
- ご出発の2カ月前を目安に船会社指定の健康診断書への記入、および提出が求められます。
- このツアーのお申し込み金は¥500,000となります

■取消料について ※「旅行代金」とはキャビン毎の旅行代金及び1名利用追加代金、ビジネスクラス利用の場合はビジネスクラス利用追加代金を含む「お支払対象旅行代金」のことをいいます。

旅行契約の解除期日	取消料
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって120日に当たる日以降91日前までに解除するとき	旅行代金の37.5%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって90日に当たる日以降当日に当たる日までに解除するとき	旅行代金の50%
旅行開始後に解除するとき又は無連絡不参加のとき	旅行代金の100%

当社では「グループ旅行取消費用担保特約」をご用意しておりますので、ツアー申し込みと必ず同時に海外旅行傷害保険に、取消料の特約を加えて加入されますことをお勧め申し上げます。

ご宿泊ホテル

■パリ空港近郊(1日目、17日目):
 シェラトン・パリ・シャルル・ド・ゴール・エアポート
 またはプルマン・パリ・ロワシー・シャルル・ド・ゴール・エアポート
 ※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。



※日程表や写真でご案内しているスケジュールは一例です。天候や自然条件、氷の状況により航路を調整していきます。様々な要素を総合的に鑑みて船長が最終判断をして運行をいたします。予めご理解の上お申し込みください。また、このパンフレットに掲載している写真や日程表内の動物は見られないこともあります。

(イメージ) ©PONANT-Olivier Blaud

1 Day
 羽田空港08:50発→パリ16:35着
 ■朝、航空機にてパリへ向かいます。
 (パリ空港近郊泊) □機中泊

2 Day
 パリ→ロングイヤールビエン18:00発
 ■午前、船会社が用意するチャーター機にてロングイヤールビエンへ。(チャーター便の時間は現段階での予定時間で、確定はしておりません。出発2週間ほど前に確定する予定です。)
 ■午後、最高クラスの設備を誇る極地探索船「ル・コマダン・シャルコー」に乗船。15泊の快適なロングクルーズをお楽しみください。
 [15連泊] (船中泊) 朝機中泊

3 Day
 北極へ向けての終日航海
 ■船は北極点へ向かい、終日、スピッツベルゲン島沖を航行しながら、北上します。氷河に削られた荒涼たる北の大地の大自然の景観をお楽しみください。
 (船中泊) 朝機中泊

4~8 Day
 北極へ向けての終日航海 [5日間]
 ■バレンツ海を北上して、北極点を目指します。途中から、海水に覆われた海域へ入っていきます。海水を渡り、狩りをするホッキョクグマにも出あえる可能性もあります。船内では、極地に関するレクチャーやエンターテイメントもお楽しみください。
 (船中泊) 朝機中泊

9 Day
 北極点到達
 ■地球のてっぺん、北極点に到達。氷上に降り立ち乾杯や記念撮影などを行います。
 (注:極点に氷がない場合や氷が薄い場合には安全なその周辺地域に降り立ちます)
 (船中泊) 朝機中泊



(イメージ) ©StudioPONANT-Nath Michel



(イメージ) ©Ian Dawson

10~14 Day
 スピッツベルゲンを目指し終日航海 [5日間]
 ■氷に閉ざされた世界から、氷が浮かぶ景色、大海原へと変化していく景色を楽しみながら、スピッツベルゲンを目指し、航行します。
 (船中泊) 朝機中泊



(イメージ) ©PONANT-Julien Fabro



(イメージ) ©StudioPONANT-Olivier Blaud

15~16 Day
 スピッツベルゲン島沖を航行し上陸
 ■2日間にわたり、スピッツベルゲン島に上陸予定。気象条件に合わせて、ツンドラのハイキングやゾーディアックボート、クルーズ等を楽しみます。※気候によってプログラムは変わります。
 (船中泊) 朝機中泊



(イメージ) ©PONANT-Ian Dawson



ホッキョクグマの親子 (イメージ)



(イメージ) ©PONANT-Teo Quillier



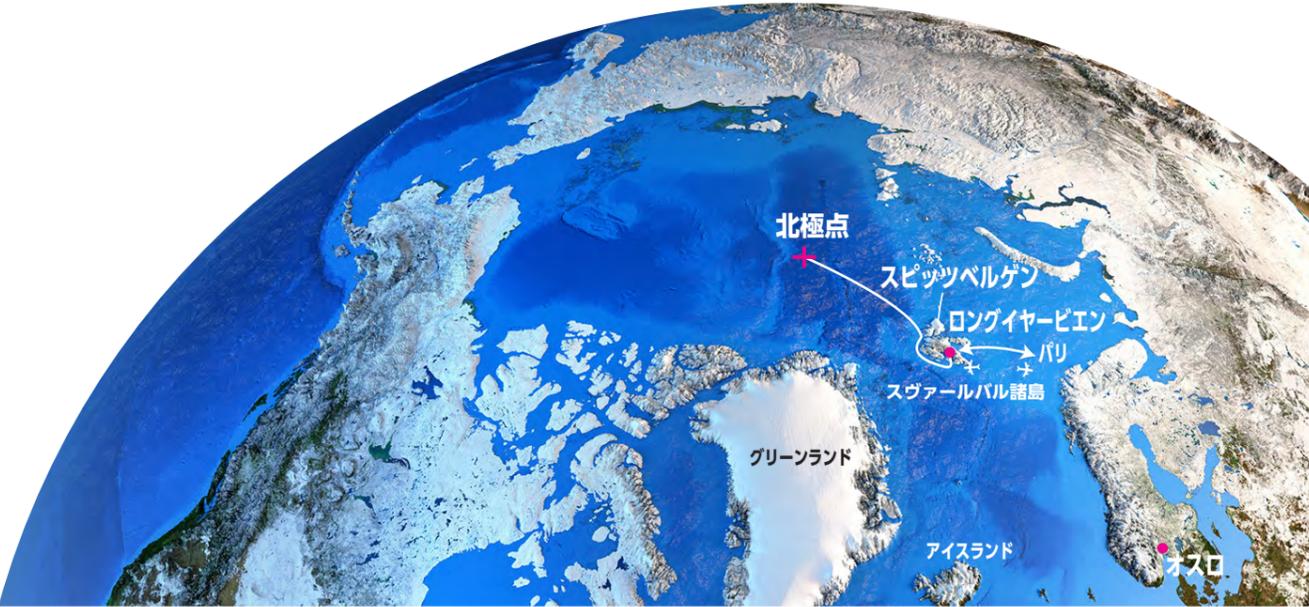
(イメージ) ©PONANT-Olivier Blaud

17 Day
 ロングイヤールビエン07:00着
 ロングイヤールビエン14:30発→パリ
 ■午前、ロングイヤールビエンに到着。
 ■その後、船会社のチャーター機にてパリへ。(チャーター便の時間は確定しておりません。出発2週間ほど前に確定する予定です。)
 ■パリ着後、ホテルへ。
 (パリ空港近郊泊) 朝機中泊

18 Day
 パリ09:30発→
 ■午前、航空機にて羽田空港へ。
 (機中泊) 機中泊

19 Day
 帰国 →羽田05:55着
 ■朝、羽田空港に到着、解散。

※日程表の時刻は、エールフランス航空の羽田空港発着を想定したものです。他航空会社を利用の場合は、時刻、日程、発着空港が異なります。





最果ての地、北極圏スヴァールバル諸島スピッツベルゲン

その地は「人類定住最北の地」、また「ホッキョクグマの聖地」とも呼ばれます。北緯74度から81度に位置し、北極点までも僅か1,200キロに位置し、大部分が雪と氷に覆われているスヴァールバル諸島の中で最大の島が、旅の後半に訪ねるスピッツベルゲン島です。国はノルウェーに属しながらも、ビザなしで滞在、商業を行うことができる、とてもユニークな場所でもあります。島には、極北の地ながらも人間が定住する町もありますが、大部分は手つかずの大自然です。南極に引けを取らない氷河が島を覆い、フィヨルドが入り組み、峻険な岩山が聳え、変化に富んだ自然景観が広がります。ひとたび上陸してみると、地面はふわふわと柔らかく、そこが永久凍土ツンドラの大地であることを確認することができます。そして、ここは、ホッキョクグマの聖地として知られていますが、他にもセイウチ、ホッキョクギツネ、クジラ、トナカイなどの出会いもあるかも知れません。一瞬の短い夏を迎えるスピッツベルゲンへの旅もあわせてお楽しみください。



夏のスピッツベルゲン島(写真はイメージです。航路は気象状況等により異なりますので、写真と同じ景色がご覧いただけるとは限りません) ©STUDIO PONANT-SYLVAIN ADENOT



船尾に設けられた温水プール「ブルーラグーン」。北極の氷海を眺めながら泳ぐことができます ©StudioPONANT-Olivier Blaud



ポナン社初の砕氷船ル・コマンダン・シャルコー

LE COMMANDANT CHARCOT

6年の開発と氷上テストの末に2021年、世界の砕氷船の中でも初のラグジュアリー客船と言える船「ル・コマンダン・シャルコー」が誕生しました。船名は、フランスの探検家ジャン・パプティスト・シャルコー氏に由来。LNG(液化天然ガス)を燃料とする環境に配慮した船でもあり、まさに極地探検クルーズ船の革命的な存在です。就航がコロナ禍であった為、知名度がまださほどありませんが、既にキャビンの確保が困難な人気のクルーズ客船です。(2021年、2022年と北極点到達を成し遂げています)

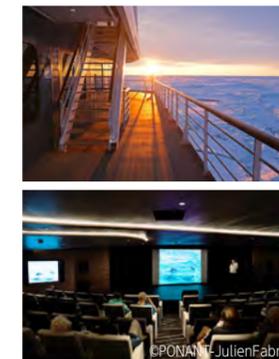


全長:150m 全幅:28m
客室数:123室 乗組員数:215人
就航年:2021年

3ヶ所あるレストランのうち、メインダイニング「ルナ」はフレンチの巨匠アラン・デュカスの監修。ソムリエの選んだ食事に合わせたワインもお楽しみいただけます。シェフやパソ職人、パティシエはデュカス氏のレストランから派遣された精鋭です。船内での食事もお楽しみください。船内はオールインクルーシブとなります。船内チップ及び一部のビンテージワイン、スパやマッサージ、ヘアサロン以外の代金は含まれております。



船の展望デッキでは、リサイクルエネルギーでベンチまで温められており、外にいながらも快適にお過ごしいただけるようにさりげない配慮がされております。



パブリックエリア

レセプション
エクスペディションデスク/ショップ/映像&写真デスク

ラウンジ
メインラウンジ/シガーラウンジ/ティールーム&バー
(特定日夜に音楽の生演奏があります)

展望ラウンジ
ライブラリー、読書エリア/ライブ・エンターテインメント(特定日夜に開催)

屋外バー「イネク」
デトックス・バー
焚き火台

レストラン
ガストロ/ミックレストラン「ヌナ」
レストラン「シラ」

レクリエーション/リラクゼーション
プロムナードデッキ

エクスペディションディック:14隻

エクスペディションルーム、会議室

ウェルネス・エリア
スパ「ビオロジックルシェルシュ」
サウナ/屋内温水プール

シアター収容人数:270名

船内の内装は、有名ホテルの改装などで人気の建築家兼デザイナーのジャン＝フィリップ・ニュエルが手掛けました。オシャレでモダンながらも居心地の良い空間が広がります。暖炉のオブジェなど、各所に極地船の寒さを感じさせない温かさを感じる演出も。

プリビレッジ 스위트

48㎡+バスタブ付き、プライベート・バルコニー12.5㎡



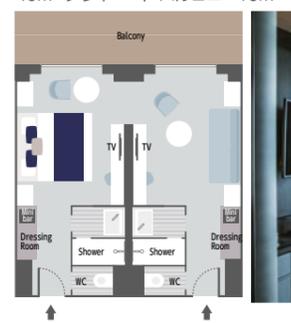
デラックス 스위트

28㎡+プライベート・バルコニー5㎡



プレステージ 스위트

40㎡+プライベート・バルコニー10㎡



プレステージ ステートルーム

20㎡+プライベート・バルコニー5㎡



客室設備

- エアコン (各室で調整可能)
- 衛星テレビ (航海の状況によっては使用不可なタイミングがあります)
- ビデオオンデマンド
- セーフティボックス
- ディープティック・パリのシャンプー、ボディソープなどのバスルーム
- アメニティ
- ドレッサー、バスローブ、ヘアドライヤー
- 電話 (外部から直通で繋がります)
- 110V電源 (A型、2フラットピン) / 220V電源 (C型、2丸ピン)
- 24時間ルームサービス
- インターネットアクセス (Wi-Fi) はございますが、極地を訪れる行程のため、電波が入るところが限られております。予めご了承ください。
- ミニバー
- Bluetoothスピーカー (Bose™)